

点滴速度調整と確認のポイント

定時確認

時間・投与量・速度などが指示どおりであるか確認する。

交換・変更

確実に行えるよう、タイムマネジメントを工夫する。

変動要因の把握・対処

- ・穿刺位置を変える。
- ・輸液ポンプや輸液速度調整補助具の使用を検討する。
- ・確実な引き継ぎを行う体制を整備する。

患者さんの体位変化

点滴速度が変化しやすい患者さんの情報を共有し、点滴速度を確認する人とタイミングを増やす。

患者さんへの説明

食事やトイレの後には点滴速度が変動しやすいことを患者さんに説明する。

患者さんの協力

著しい点滴速度の変動があったら、看護師に知らせるよう患者さんの協力を得る。

異常に気づいたら、必ず医師の指示を仰ぐ

- 予定より早く終わってしまった（投与速度が速くなっていた）
 - ・バイタルサインを確認する。
 - ・副作用や有害事象がないかを確認する。
- 内容液がたくさん残っている（投与速度が遅くなっていた）
 - ・勝手に速く投与しない。

監修：NTT東日本 関東病院 看護部 村岡修子

輸液製剤協議会ウェブサイト

<https://yueki.com>



アクセス
お待ちしております♪



2019年11月作成

滴下数確認表

輸液500mLを滴下する場合の投与時間と
10秒あたりの滴下数

投与時間	投与速度 (mL/h)	輸液セットの規格	
		20滴/mL	60滴/mL
		10秒あたりの滴数	
30分	1000	55.6	166.7
1時間	500	27.8	83.3
2時間	250	13.9	41.7
3時間	167	9.3	27.8
4時間	125	6.9	20.8
5時間	100	5.6	16.7
6時間	83	4.6	13.9
8時間	63	3.5	10.4
10時間	50	2.8	8.3
12時間	42	2.3	6.9
24時間	21	1.2	3.5

監修:NTT東日本 関東病院 看護部 村岡修子

輸液製剤協議会 会員会社

エイワファーマ(株) 大塚製薬(株) (株)大塚製薬工場
川澄化学工業(株) 共和クリティケア(株)
テルモ(株) ニプロファーマ(株) 光製薬(株)
扶桑薬品工業(株) マイラン製薬(株)